

開催状況

第1回 令和7年6月25日

- 母体救命搬送システムの運用状況について
- 周産期搬送コーディネーターの実績について
- 事例検証（同時発生之母体救命搬送事例、外国籍妊産婦の対応 等）

第2回 令和7年11月18日

- 周産期医療情報システムの見直しについて
- 胎児救急搬送システムについて
- 事例検証（一般通報における胎児緊急事例、胎児救急該当事例 等）

検証状況と今後の方向性

- 胎児救急搬送システムの実績が毎年度10件程度（R4年度6件、R5年度13件、とR6年度11件）と、十分に活用されてない状況があり、周産期搬送システムに関するポスターをリニューアルし、都内産科施設に送付した。
- 今後、胎児救急搬送システムについて、運用状況を引き続き確認するほか、課題を整理し今後の対応について検討していく。

周産期搬送体制検証部会委員名簿

		(敬称略)	
役 職			氏 名
産科	総合周産期母子医療センター 日本赤十字社医療センター 周産母子・小児センター副センター長兼第三産婦人科部長 昭和医科大学病院産婦人科講師 都立多摩総合医療センター産婦人科部長 都立墨東病院産婦人科部長	○	山田 学 金子 真由美 本多 泉 兵藤 博信
	地域周産期母子医療センター 順天堂大学医学部産婦人科助教 武蔵野赤十字病院産婦人科副部長		熊谷 麻子 小林 織恵
	周産期連携病院 日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科准教授		林 昌子
	地域周産期医療施設代表 医療法人社団五の橋産婦人科院長		川嶋 一成
小児科（新生児科）	総合周産期母子医療センター 日本大学医学部主任教授(日本大学医学部附属板橋病院) 都立小児総合医療センター副院長 都立大塚病院新生児科部長 杏林大学医学部付属病院小児科准教授	◎	森岡 一朗 近藤 昌敏 大橋 祥子 細井 健一郎
	地域周産期母子医療センター 東京女子医科大学教授(東京女子医科大学附属足立医療センター) 東京医科大学病院小児科・思春期科助教		長谷川 久弥 西端 みどり
救急部門代表 日本大学医学部主任教授(日本大学医学部附属板橋病院)			木下 浩作
周産期母子医療センター看護部門代表 杏林大学医学部付属病院看護師長			近藤 由理香
一般社団法人東京産婦人科医会副会長			谷垣 伸治
公益社団法人東京都助産師会専務理事			青柳 三代子
東京消防庁救急部救急医務課長			塚田 信隆
東京消防庁警防部総合指令室指令担当副参事・救急運用担当			村山 隆之

任期: 令和6年2月19日から令和8年2月18日まで